

※番号は一般質問の発言順です。

一般質問

定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、9月5日から59日の中で4日間行われ、19名の議員から32の質問があり、行政側の対応をたじました。掲載内容は、それを要約したものです。詳しくは、会議録、会議録検索システムでご覧いただけます。

○会議録(12月上旬発行予定)

○図書館、市政図書室

○会議録検索システム(12月上旬更新予定)

市ホームページ

※情報端末機(パソコン)の設置場所は、市役所本庁舎1階市民相談室、七生支所、図書館、市政図書室、中央公民館、市立病院です。



本会議の様子をインターネットで録画配信しています。
市ホームページ⇒市議会・議会議中継 から
<http://www.city.hino.lg.jp/>

① 中谷 好幸

(日本共産党)

市民の生命と財産を守る地域防災計画の策定を

問 丘陵地における崖等の危険力所を表示した災害ハザードマップを作成することは出来ないか。
答 作成の基礎調査は東京都の所管事務です。今後は、都と相談しながら、その必要性も含めて研究します。

問 一般住宅に対する耐震助成について問う。
答 国や都に対して積極的に働きかけたいと考えています。

問 予防対策に力を入れた地域防災計画の抜本的な見直し、強化は可能か。
答 計画を見直す際に、予防面の重視について検討します。

問 地域防災計画の見直しにあたり、市民参加を要する必要があるのでは。
答 他の市町村の状況を把握し、検討します。

問 支援総合事業についての対応を問う。
答 今秋に当事業の基本事項を提示し、年度内に手引きの作成を予定しています。また、実施にあたり、サービスの種類や量が確保されているのかを慎重に検討します。

② 鵜澤 敏子

(民主市民ネットワーク)

改正介護保険の論点とその実践への課題について問う!

問 法改正により、新たに創設されたサービスへの対応について問う。
答 地域性や他の介護サービス事業者及び医療機関の充実等を踏まえ、ニーズや効果について検討します。

問 介護予防・日常生活

③ 奥野 倫子

(日本共産党)

ガーデンングの土の処理システム、ブロック塀の生垣化への助成を!

問 土の回収とリサイクルのシステムを作れないか。
答 市では土石を処理出来ないため、専門の処理業者を紹介しています。今後、再生土利用の検討をしていきます。

問 事故の検証やエネルギー政策の問題については国民的議論が必要で、市としては引き続き環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を市民、事業者等の方々と取り組んでいきたいと考えます。

④ 菅原 直志

(民主市民ネットワーク)

自殺総合対策推進条例制定のその後について

問 自殺総合対策基本計画策定の方向性を問う。
答 総合的な生きる支援であると捉えており、職員研修を充実させるなど、全職員が当事者意識を持てるような仕組みが必要だと考えています。

問 放射線から子どもを守るために
問 給食食材の産地公表に至った経緯を問う。
答 以前から把握・確認していましたが、少しでも保護者等の安心感が得られるよう、積極的に公表したものです。
問 給食食材を個別に被曝量検査できないか。
答 東京都の検査方法と同一ではなく、検出限界値が異なるため比較が難しいことから、単独検査は困難であると考えます。

⑤ 池田 利恵

(自民クラブ)

大震災に学ぶ被災地支援と危機管理とは

問 被災地派遣職員による報告会が行われたのか。
答 全職員に対し、庁内掲示板で報告しました。なお、今後の防災計画見直し時に派遣職員を参加させ、経験を生かした計画作りを検討します。

問 各部署の課題は。保護者が帰宅困難者となった場合の学校や子育て施設での対応及び停電時の在宅医療機器の停止対策等があります。
問 明治大学スポーツパーク計画の今後は?
答 敷地西側に通路を設置する計画についての考えを問う。
答 説明会では賛成と反対の意見がありました。地元の見解を更に聞いた上で方向性を検討し、周辺住民の生活環境への配慮を求めていきます。

⑥ 峯岸 弘行

(公明党)

高次脳機能障がい者対策について

問 相談支援体制の充実について問う。
答 必要に応じて、東京都心身障害者福祉センターと連携した相談を行っています。

問 防災拠点としての、(仮称)ふれあいホールの役割について問う。
答 マンホール対応型トイレや防災倉庫を併設し、多機能型の避難所として指定したいと考えます。
問 買い物弱者対策と商店街の活性化について再び問う
答 買い物弱者対策について問う。
答 宅配サービスのモデル事業を実施する予定です。

⑦ 古池 初美

(民主市民ネットワーク)

日野の産業を子どもたちにつなげよう!

問 キャリア教育の充実について問う。
答 企業と学校のマッチングの機会を創出し、充実に努めます。

問 将来の人材確保につながるため、子どもたちが市内産業に触れる機会を作れないか。
答 意欲をかきたてるよ

⑧ 中野 昭人

(日本共産党)

その時、市長はどう対処するのか違法生コン工場の移転用地の確保期限迫る

問 報告書の内容を問う。
答 移転先として、2カ所の候補地があることや、事業者としての受注が最長でも年内の契約期限となっていること等が記載されています。
問 住民説明会の実施は、

問 報告出来るような進捗状況に入った段階で、開催する予定です。
問 見解及び決意を問う。
答 市が特定行政庁になった当初から、厳しい認識を持つべきであったと反省しています。昨年8月以降は個別具体的な指導をしています。そして、事業者が文書で提出した平成24年6月30日の期限が過ぎた場合、覚悟を決めた措置をしなければならぬという認識を持っています。

⑨ 清水 登志子

(日本共産党)

貧困の連鎖を断ち切るために、低所得世帯の子どもたちの学習支援を

問 生活保護世帯における学力不足や家庭の問題に対する取り組みを問う。
答 保育園、学校、児童相談所、保健所等と連携し、安定した生活ができるよう、また、高校進学への経済的懸念を取り除いていきます。

問 生活保護世帯における学力不足や家庭の問題に対する取り組みを問う。
答 保育園、学校、児童相談所、保健所等と連携し、安定した生活ができるよう、また、高校進学への経済的懸念を取り除いていきます。

⑩ 佐藤 洋二

(無党派)

西豊田駅誘致事業今後の展望

問 三鷹・立川間複々線化検討委員会は、2年間で最終判断をするのか。
答 費用便益等、前回の調査を踏まえて採算性や補助制度等を更に掘り下げ、2年の委託期間の中で実現性を検討します。

問 市民に分かりやすい情報提供の工夫や整備について問う。
答 分かりやすいホームページとするため、現在、狛江市との共同により調査・研究しています。また、施設の利用方法も検討したいと考えています。

⑪ 奥住 匡人

(自民クラブ)

今こそ、地域力の向上を

問 自治会を活性化するための取り組みは。
答 行政との情報交換や地域交流の場として、地域懇談会を開催しています。今年度、自治会アンケートを行い、モデル地域を選定し、自治会が元気になるような取り組みを推進していきます。

問 子育て世代や女性の地域活動への参加促進について問う。
答 地区青少年育成会や児童館のイベント等、子どもを中心とした地域活動が展開されています。今後とも、市民や団体と協力し、身近な地域での世代間交流を推進します。
問 三代交流への取り組み状況を問う。
答 大学と連携して市民意識調査を実施し、三代交流に結びつく施策を展開したいと考えます。

⑫ 窪田 知子

(公明党)

発達障害児・者の支援体制について、発達支援センターの開設に向けて

問 センターの基本方針について問う。
答 気づく、育てる、見守る、つなぐの四つをキーワードとして、発達支援の中核的な役割を担っていきます。
問 乳幼児期から成人まで、一貫した支援を受けるためのサポートファイ

問 センターの基本方針について問う。
答 気づく、育てる、見守る、つなぐの四つをキーワードとして、発達支援の中核的な役割を担っていきます。
問 敬老金の支給日を誕生日に出来ないか。
答 社会情勢、市民の見、市全体の方向性を踏まえた上で、今後の検討課題としていきます。

⑬ 西野 正人

(自民クラブ)

「公共施設白書」作成について

問 白書作成の意義及び今後の取り組み方について問う。
答 建物のメンテナンス費用等を明確に把握することが可能になるというメリットがあります。今後、作成に向けて困難が予想されますが、前向きに努力します。

問 問題解決に向けての庁内体制について問う。
答 複数の部署が連携し、適切な時期に対応する準備をしています。

「まちづくり」における問題解決と庁内体制について

問 生コン工場の稼働期限について問う。
答 事業者が土地探しを真剣に行っていると認められる場合に限り、平成24年6月30日までとしています。

問 問題解決に向けての庁内体制について問う。
答 複数の部署が連携し、適切な時期に対応する準備をしています。